

整理番号

事業名

新しい公共による薪燃料利用拡大モデル事業

評価項目

| No | 項目               | 記入欄<br>内容が分かるように、200字以上～300字以内で簡潔にまとめて記載してください。   | 自己採点 |
|----|------------------|---|------|
| 1  | 成果目標             | 薪の原木供給や薪製造及び森林整備を担う人材育成のための技術習得講習会については、NPO等に所属している人達が積極的に参加し、また普及啓発事業の一環で実施した薪づくりイベント・シンポジウムについては、木質バイオマスに関心のある多くの市民が参加したことで、目標数値を上回る参加実績があり優れた成果が得られた。<br>目標数値：7団体以上、150人以上<br>実績数値：10団体、206人 | 4    |
| 2  | 市民性              | 当該事業における講習会、シンポジウム等については、地域のNPO等の団体が10団体参加し、これ以外にも任意団体等で活動している参加者も把握できていないが、多く参加している。参加者への事後の聞き取り調査でも継続して実施してもらいたいなどの意見が多くあり、一定の評価が得られた。  | 3    |
| 3  | 波及効果             | 木質バイオマス事業を進めていく上で、薪の原木供給や薪需要の拡大が課題となっている。今回の事業のメインでは安定した薪の原木供給を促進することとなっており、それに関わる林産業を主として活動している団体は技術の習得や新たな木材搬出方法等の情報提供などを求めている。今回の事業ではそういった課題を一堂に会して解決することができ、一定の成果が得られた。                     | 3    |
| 4  | 継続性              | 今回の事業では、多くの住民・団体に木質バイオマス事業の理解が得られたと考えており、今後は薪需要調査の結果を踏まえ効率的に薪の供給先を増やし、事業を拡大して事業を継続していこうと考えている。また、普及啓発のイベントについても既に計画しており、発展的に継続していく予定となっている。   | 3    |
| 5  | マルチステークホルダー・プロセス | 行政・NPO等が協働して事業を実施したことにより、当該事業の役割分担については、木材の搬出や運搬、シンポジウムやイベントの開催など各団体における得意としている分野ごとに事業展開を実施し、また事業の参加周知については各団体を通じて必要とされる人材に周知することができ、檜原村では新たな体制ではあったが、協働の効果を発揮することができたと考える。                     | 3    |

合計点

16

ランク

A